

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム優瑠里

目標達成計画

作成日：平成 29 年 4月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	36	・年長者として、誇りを大切にし、丁寧な言葉遣いに努めているが、時折職員の気持ちに余裕がない時、優しい対応に欠けている時がある。また、遠い所から呼んでしまう場面がある。	・利用者を敬い、正しく理解して職員全員が尊重し、喜んで頂くケアに努める。 ・職員の気持ちに余裕がない時は特に、職員同士で助け合いチームで支援していく。	・利用者の心身の状態を理解し把握する為、定期的なミーティング、アンガーマネジメント等の勉強会。 ・チーム支援をしていく上で職員同士のコミュニケーションをより図る。また、現在も行っているが出勤者による朝礼での申し送りをより確実に言い、小さいことでも記録に残すという意識づけをする。	6 か月	
2	33	・看取りケアに関する指針について全般。 ・看取り体制の開始時期などより正しく理解する為の話し合いや勉強会があまり出来ていない。 ・夜間1人体制の不安感や職員への負担軽減をどうするか。 ・家族様の意志の確認や連絡体制の明確化。	・職員全員が看取り介護に関する事を理解し役割を再度確認する。 ・家族様、職員が安心出来る看取りケアの体制を作る。	・入居者様の現在の身体状況についてまとめる。重度化、急変、終末期に向かった時、本人や家族と話し合っておき、万が一その時が来ても支援出来る準備をしておく。 ・看取りに関する知識向上、チーム全体での支援、連絡体制の強化に努める。	6 か月	
3	2	・行事や運営推進会議などでの交流は図れているが、それ以外では中々交流出来る機会があまりない。	・地域の方ともっと交流を図る為、行事だけでなく普段でも何か案内できるような事があれば積極的に呼びかけ交流を図る。	・草引きなどでもお願い出来るのであればボランティアさんや家族様とに呼びかけし参加を促し交流を図る。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。